

図書館 event **企画展**

読書感想文課題図書 47 点を 8 月 18 日 (日) まで展示しています。夏休みの課題、読書感想文はこちらをご利用ください!

図書館 event **読み聞かせ会**

**8月10日(土) 11:00 ~**

【場所】3階ミーティングルーム  
 【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

図書館 event **こどもペーパークラフト教室**

**9月7日(土) 10:00 ~**

【対象】幼児から小学生 親子も可  
 【場所】3階ミーティングルーム  
 【内容】メッセージカードなど

郷土資料のご案内



震災前、大槌町には岩手県最古のジャズ喫茶がありました。名前は「クイーン」。マスターの佐々木賢一さんは昨年 8 月惜しくも亡くなられ、その訃報は新聞にも取り上げられました。

命日を迎える 8 月、佐々木さんの寄稿「走ったり、転んだり、そして歩いて、歩く」が掲載されている、「おれたちのジャズ狂青春記」「ジャズ喫茶が熱かった日々」とジャズ関連の書籍をご紹介します。

ジャズ喫茶クイーンのマスターと、あの雑然とした CD にかこまれた居心地の良い空間はもうありませんが、この本を読んでマスターとクイーンの思い出に浸ってみませんか?

8月の休館日 毎週火曜日、8/4(日)

☎ 図書館 TEL0193-42-7226

くらしの **安心** だより

岩手県沿岸広域振興局からのお知らせ

「土砂災害防止法基礎調査」のお知らせ

土砂災害防止法に基づいた基礎調査を行います。基礎調査とは、「土石流」「急傾斜地の崩壊」「地すべり」によっておこる土砂災害の恐れのある区域の地形、地質、土地利用状況などを現地にて調査するものです。調査にあたっては、調査員が土地に立ち入る場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

〈期間〉令和 2 年 3 月まで  
 〈場所〉町内全域

【お問い合わせ】岩手県沿岸広域振興局 土木部河川港湾課  
 TEL 0193-27-5572 FAX 0193-21-1106

危機管理室からのお知らせ

大槌町防災ラジオについて

台風や大雨などの災害時は、防災行政無線の放送が聞こえない場合があります。町は、室内で放送を聴くことができる防災ラジオを町内の全世帯、事業所に無償貸与しています。



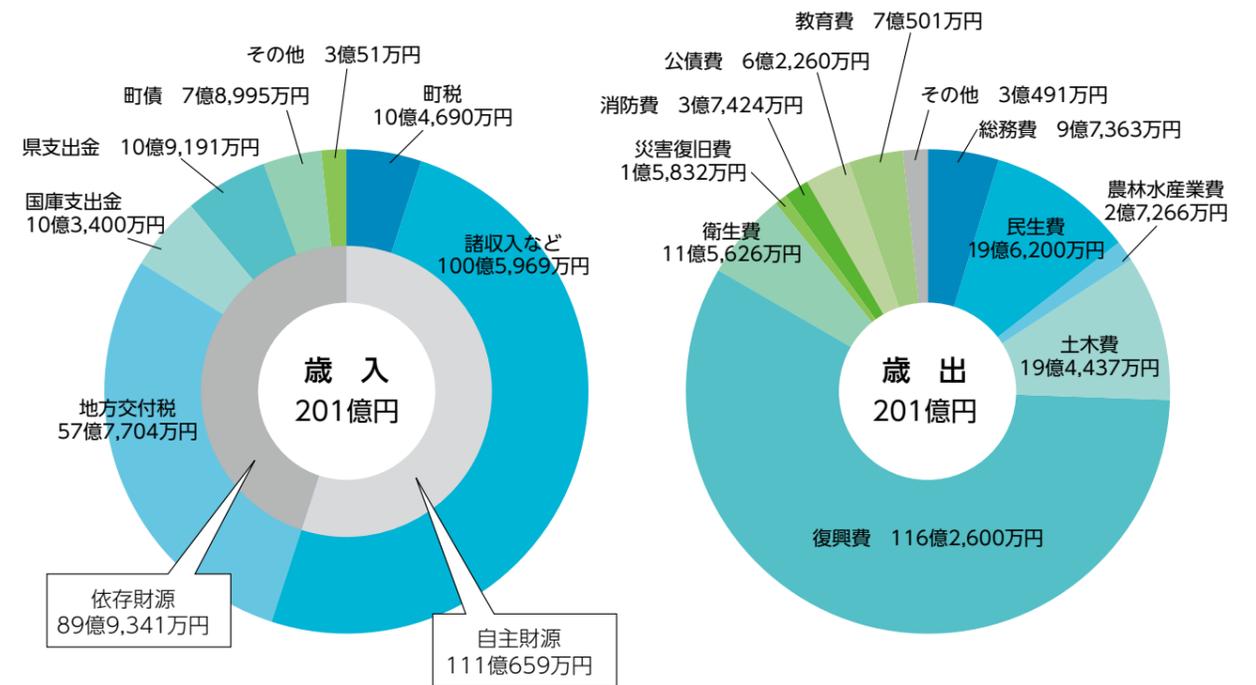
貸与を希望する方は、役場 2 階危機管理室に申請してください (代理申請も可能です)。

既に防災ラジオの貸与を受けている方で、町外への転出など、防災ラジオが不要となった場合は危機管理室に届出をして返却してください。なお、町内での住所変更や世帯主が変更になった場合なども届出が必要です。

また、防災ラジオが壊れた場合は、ご自身で廃棄せず、危機管理室にご連絡をお願いします。

【お問い合わせ】危機管理室 TEL 0193-42-8781

令和元年度 **町の当初予算**



【復旧・復興に関する予算】

【一般会計】	
復興整備事業	66億7,589万円
災害公営住宅整備事業	1億3,500万円
赤浜地区復興まちづくり支援施設整備事業	4億9,380万円
大槌町被災者独自支援事業	5億8,070万円
被災事業者支援事業	1億2,500万円
安渡地区津波復興拠点整備事業	4億6,830万円
マテリアルリサイクル施設整備事業	4億820万円
【特別会計】	
下水道・復興交付金事業	10億7,000万円

【特別会計予算額】

国民健康保険	17億9,881万円
下水道事業	16億1,221万円
漁業集落排水処理事業	12億6,256万円
介護保険	14億8,323万円
後期高齢者医療	1億2,485万円

【水道事業会計】

	収益的収支	資本的収支
収入	3億5,346万円	7億3,804万円
支出	3億5,471万円	8億1,670万円

☎ 企画財政課 財政管財班 TEL0193-42-8712

令和元年度当初予算は、復興から次のステージへ向かう「第9次大槌町総合計画の始動の年度」であることから「魅力化」と「チャレンジ」をキーワードに、大槌の多面的な魅力を発信・発信するとともに、新たなステージへと挑戦するための「大槌の魅力化チャレンジ予算」として編成しました。歳出は一体的な面整備を行う復興整備事業 66 億 7 589 万円や災害公営住宅整備事業 1 億 3 500 万円、マテリアルリサイクル施設整備事業 4 億 820 万円などです。歳入では、地方交付税において、普通交付税 24 億 1 300 万円、復旧や復興のための事業に必要な財源不足額を補うための震災復興特別交付税を 32 億 5 354 万円計上しています。

引き続き町民と行政の協同のもと、被災者や町民に寄り添った復興の総仕上げに向け、総合計画を着実に進めていきます。